

厚みはどう変化するのか

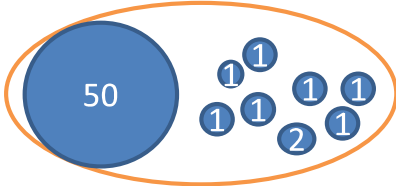
研究者の移動による大学の変化
荒い荒い思考実験…

川本 思心

2017年6月16日

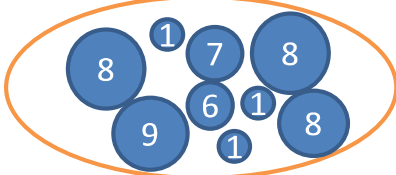
「厚み」は研究者の移動で どう変化するのか

A型 h5-iindex=2



厚み指標で、大学(同分野)はおおまかにま
ず三つのタイプに分けられるとする

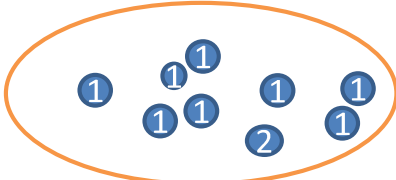
B型 h5-iindex=6



左図の各オブジェクトは本来は論文であって
研究者ではないが、最も引用されている論文
を代表して表示した研究者であるとする

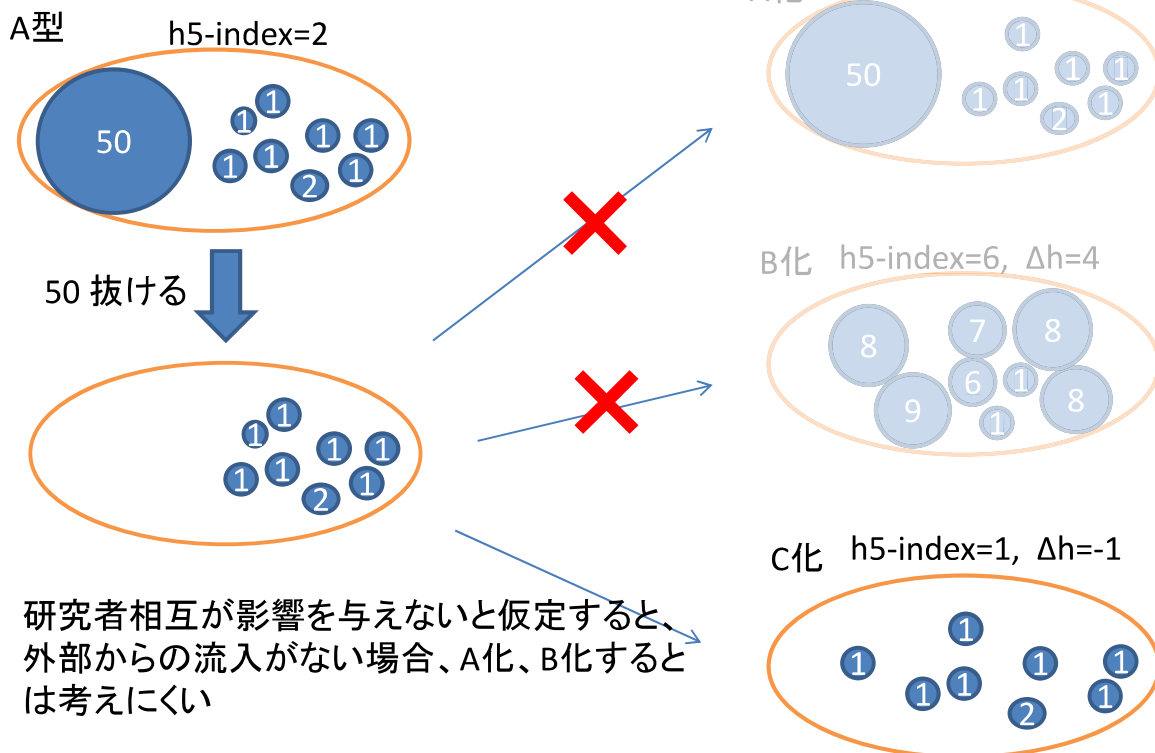
相互に研究者が移動する場合、それぞれの
大学の厚みはどう変化するのか

C型 h5-iindex=1



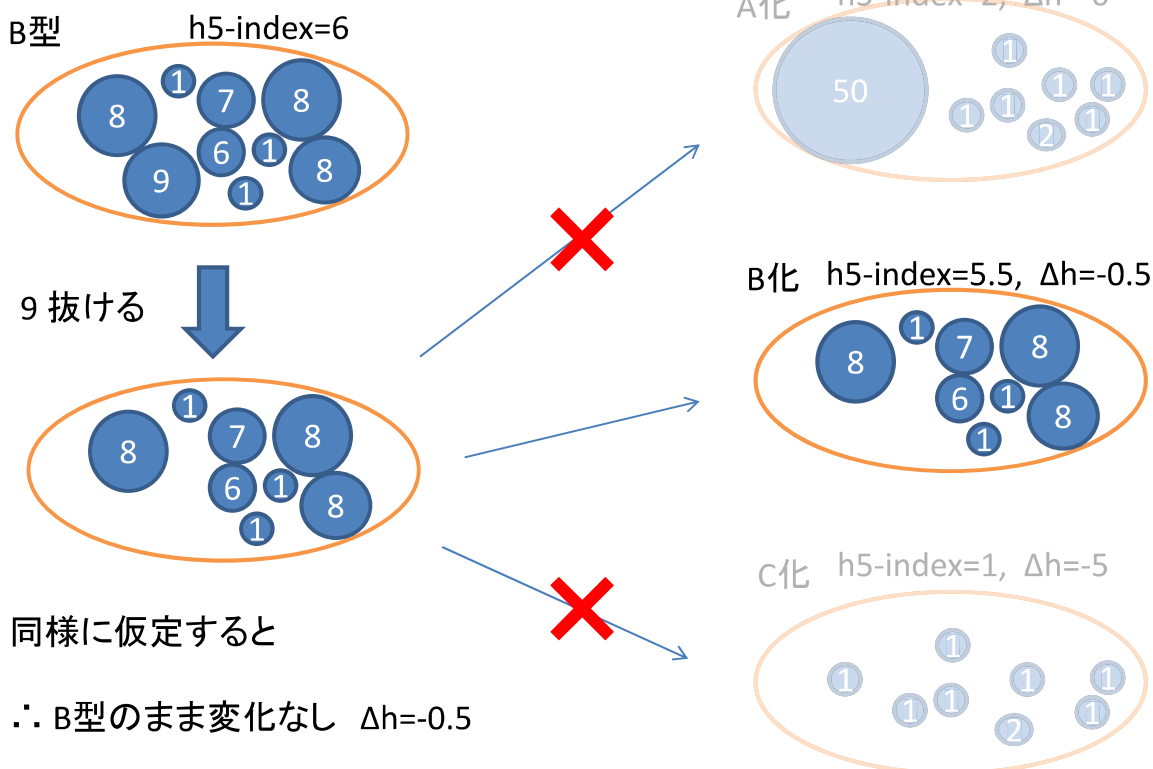
Topの研究者(被引用件数が多い論文を書い
た研究者)が移動する可能性が高いと仮定す
る

Aからの流出と変化

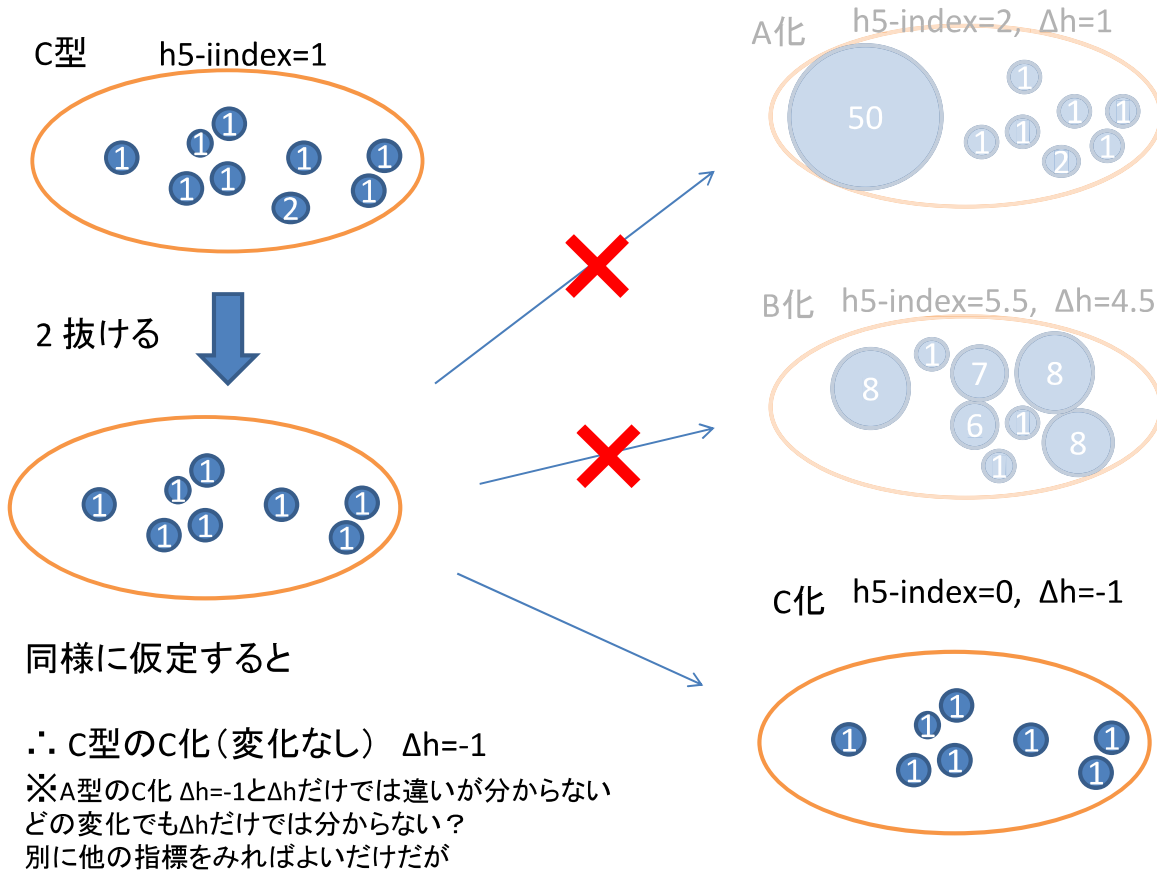


∴ A型のC化 $\Delta h=-1$

Bからの流出と変化

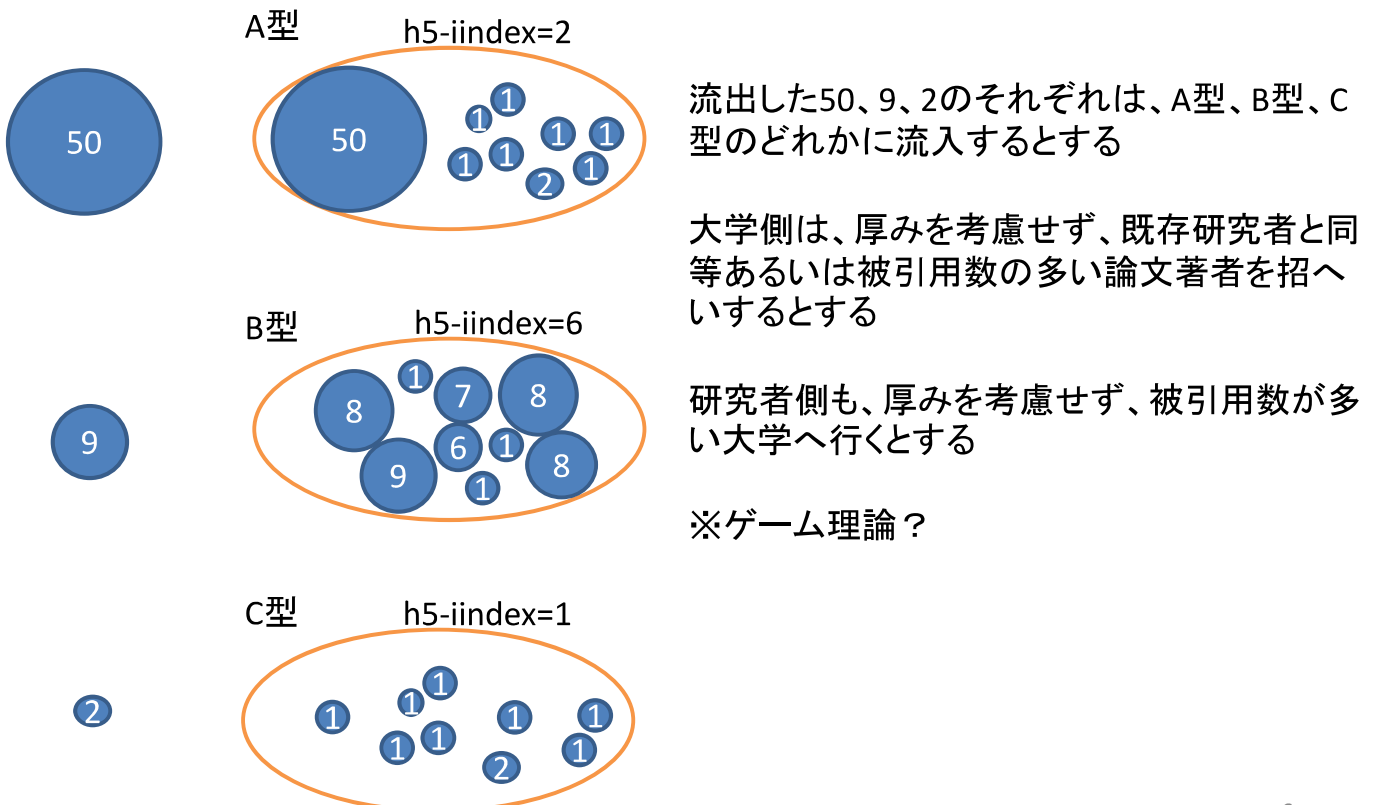


Cからの流出と変化



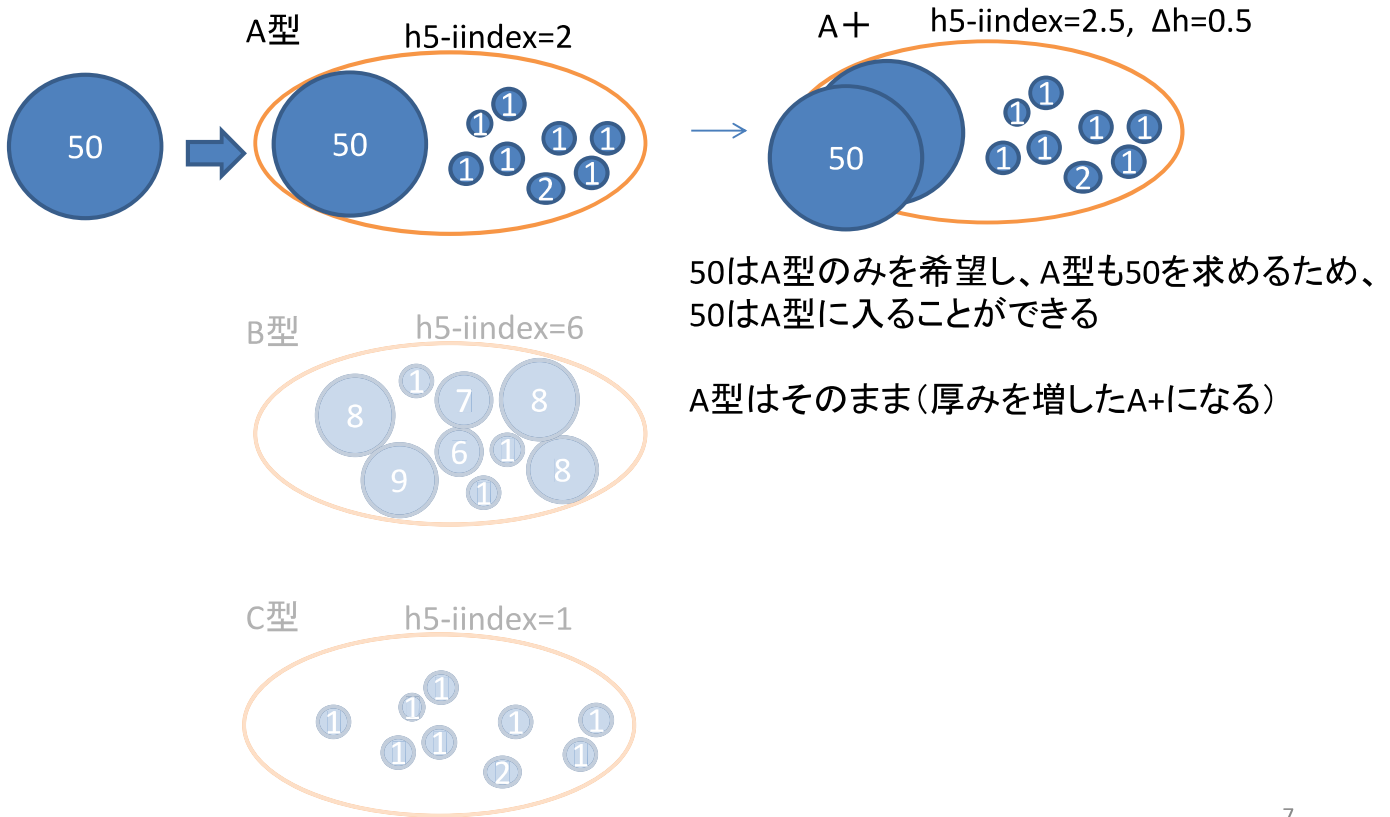
5

どこに流入するか



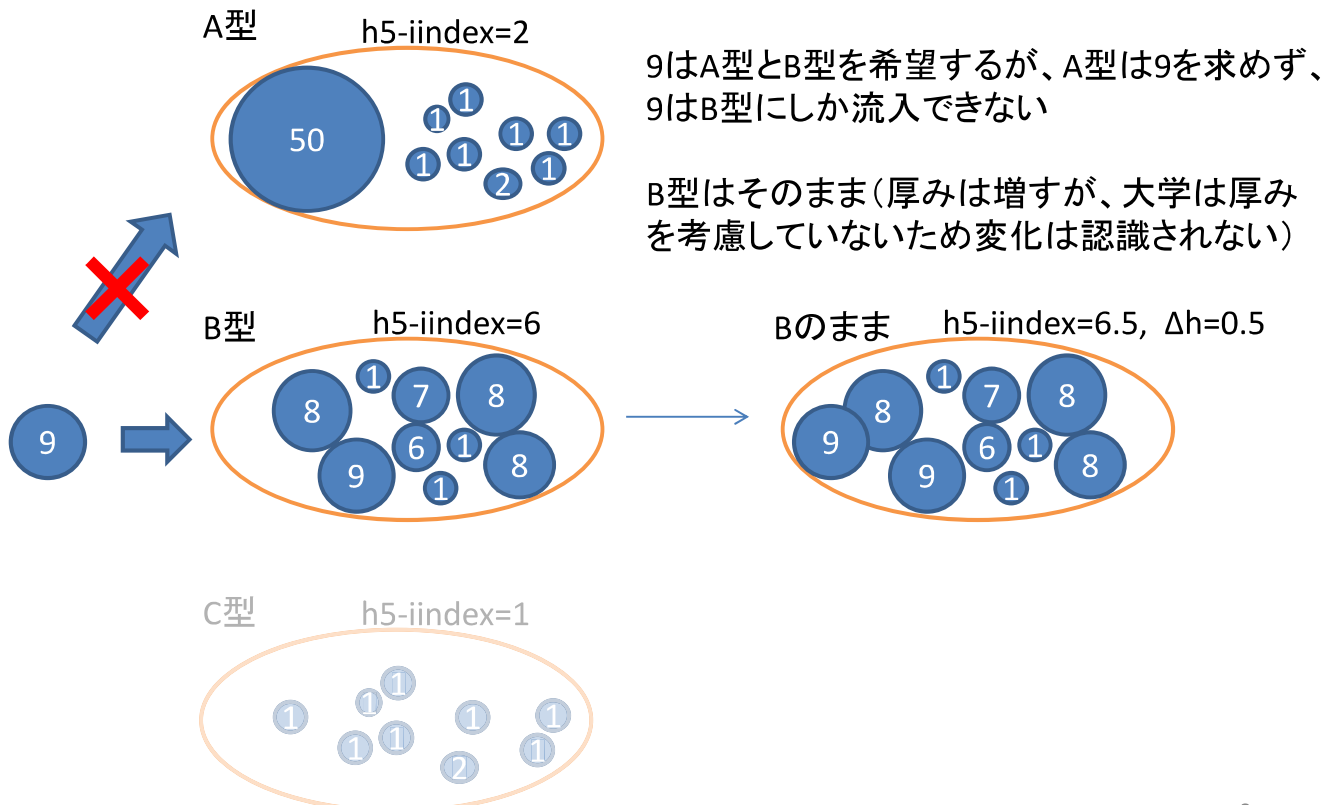
6

50の流入と変化



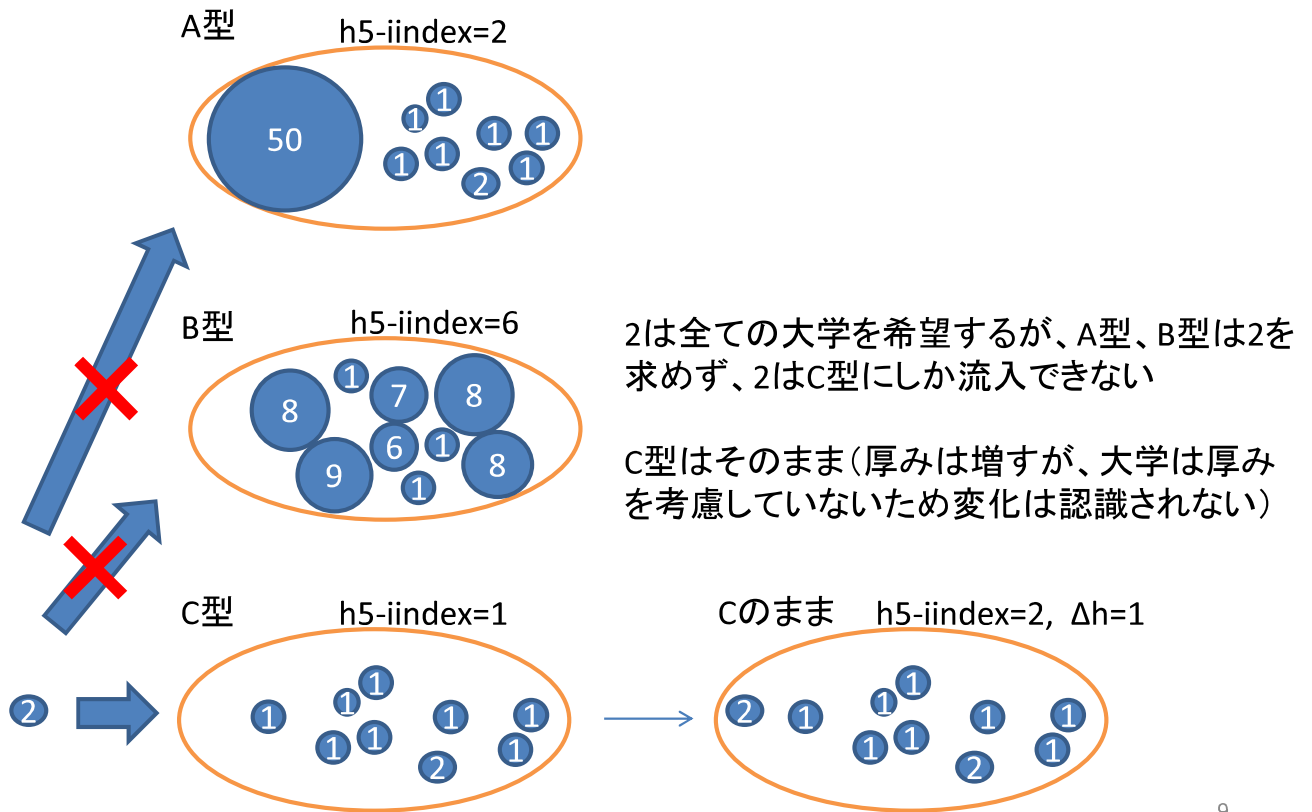
7

9の流入と変化



8

2の流入と変化



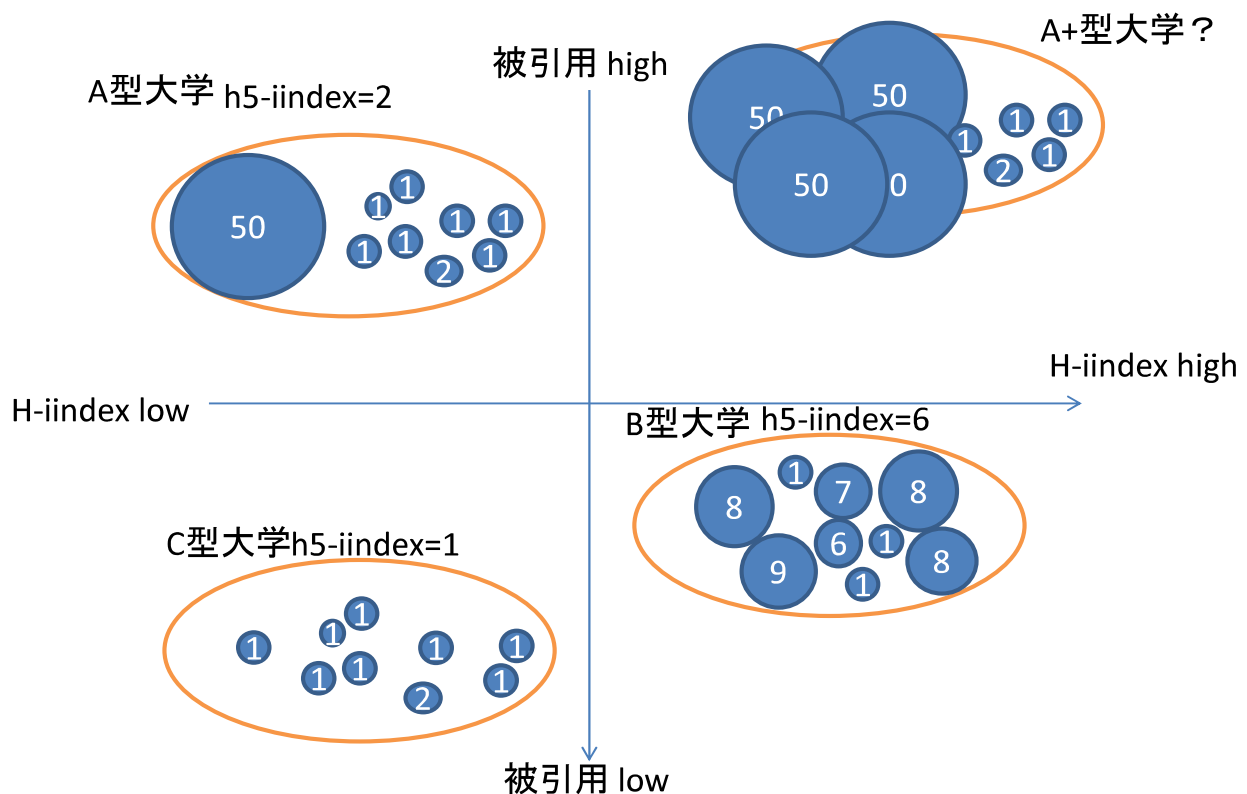
9

厚みを考慮しないと 大富豪的状況に？

	Before	After	その後の 流入	after2
流出	A-50	C	C+2	C
	B-9	B	B+9	B
	C-2	C	C+2	C
流入	A+50	A+		
	B+9	B		
	C+2	C		

研究者と大学双方が厚みを考慮せず、被引用件数だけを考慮する場合、研究者の移動によって、A型は厚みを兼ね備えたA+型になっていくが、B型とC型は固定化する(B型もいずれC化?)。ただし一方でAはCに一気に変化するリスクをもつ

被引用件数とH-iindex



まとめ？

- 変化を考慮することで、厚み指標の意義が補強される（と思われる）
 - 全ての大学が被引用件数だけを重視すると大学は両極化（固定化）してゆく？
 - 被引用数は高いが厚みは薄いA型はリスクが高い
- ただし厚み変化量 ($\Delta h\text{-iindex}$) だけだと、 $A \rightarrow C$ 、 $C \rightarrow C$ 、 $C \rightarrow A$ の違いが判別できない
 - 被引用件数との合成変数